

静岡県議会議員

山崎しんのすけ通信

vol.19
2019年10月発行

浜松市と静岡県を結ぶ!! 若きカジュアル政治マガジン

『しんのすけ通信』 ネクストステージへ!



平成25年6月の県議会議員選挙初当選以来、気軽に読める政治マガジンをモットーに「山崎しんのすけ通信」を発売してまいりましたが、この度、紙面を大幅リニューアルすることに致しました。その理由は、皆様が気になるテーマを深掘りすること、紙面というアナログ媒体とネット技術を効果的に融合していくことに挑戦するためです。しばらくは試行錯誤が続くかもしれませんが、より価値のある政治マガジンとなるよう努めてまいりますので、どうぞ、引き続きの「愛読を」お願い致します!

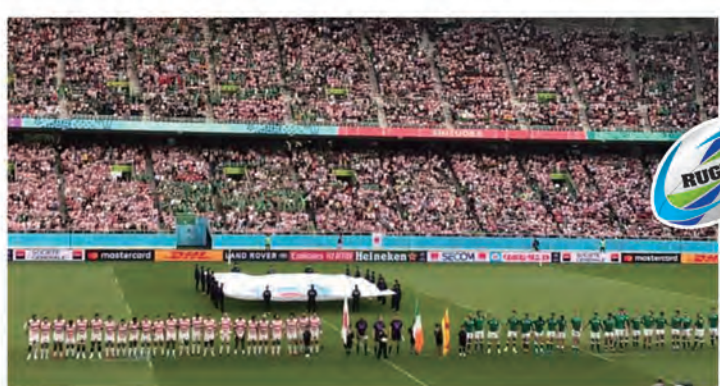


オフィシャルブログはこちら▶

去る9月26日、4月の統一地方選挙後初めてとなる一般質問を行い、川勝県知事をはじめ県当局と白熱した議論を交わしました。今回は、これまで継続的に取り組んできた「篠原地区の野球場」「eスポーツの振興」「特別支援教育の充実」に関するに加え、「次世代人材の育成」「ALS患者等への支援」「高齢ドライバーへの支援」「発達障がい者への免許取得支援」なども取り上げ、それぞれに前向きな答弁を引き出すことに成功。詳しくは、オフィシャルブログにて解説していますので、コチラのQRコードをご利用ください。



改選後 初めての一般質問で 白熱議論



世界を震撼させたラグビー日本代表によるアイルランド撃破! この歴史的な瞬間が、我が静岡県のエコパスタジアムで成し遂げられたことを誇りに思います。ラグビーW杯のエコパ開催が決定して以来、コートや照明の改修など大きな予算を投入してきましたが、最高の費用対効果とも言えべき結果となりました。しかし、喜んで終わりではありません。このハード・ソフト両面にわたるレガシーをしっかりと後世に残し、さらなる静岡県の発展に繋がるよう努めてまいります。

ラグビーW杯! エコパの衝撃!!



それは大きな誤解です。確かにJR東海は工事認可を得ていますが、「地域の理解」「環境の保全」「安全の確保」という3つの条件が前提としてあります。そして実際に、大井川水系の水資源と南アルプスの自然環境の保全への悪影響が大きな課題として存在している以上、物事を丁寧に進めるのは当然のことです。また、そうだけでなく南アルプスはユネスコエコパークにも登録された複雑な地質を有する自然の宝庫であり、研究者も少ないゆえに生態系も未知の部分が多く、ここにトンネルを通す工事自体が超難関レベルとも言われています。だからこそ、取り返し

指摘1 静岡県側がいたずらに 工事を遅らせている?

東京と名古屋を40分で結ぶ、国策とも言える夢のような巨大プロジェクト「リニア中央新幹線」。JR東海は、2027年の開業を目指してルート選定や環境影響評価などを行い、2014年には国土交通省から工事の認可を受け、現在各地でトンネル等の工事が行われています。しかし、リニアが通る東京、神奈川、山梨、静岡、長野、岐阜、愛知のうち、たった8.9キロしかない静岡工区だけが着工していない状況にあります。このままでは、開業時期が遅れが生じる恐れもあり、JR東海側と静岡県側の協議がスピードアップしてきたということです。

リニア中央新幹線 南アルプストンネル 工事の行方は?

過熱し始めた議論の背景

指摘2 川勝知事の真意は?

気になる今後の方向性

一方、静岡県内には駅もできず、環境負担だけが生じるために、知事が取引の材料に使っているのではないかとの声も聞かれます。しかし、これはとても残念な妄想です。現在、県は川勝知事の指示の下、膨大な量の資料を読み込んだり、論点を整理したりと相当な努力を行っています。また私たち議会側も、先日開かれた常任委員会では、会派を超えて県の姿勢を応援する発言が相次ぎ、足並みも揃ってきました。県民の不安を払拭できるよう、チーム静岡県でJR東海との対話を進めていくことが大事だと考えます。

この原稿執筆時点では、10月4日の静岡県環境保全連絡会議にて、トンネルの工法と湧水による大井川の流量減少についての協議が行われましたが、双方の考え方に、いまだ大きな隔たりがあるのは否めません。今後は、いかに専門的な調査を進められるか、その中でリスク判断をどう行うか、そして万が一の場合の補償をどのような形で協定書に盛り込むか、などを突き詰めていくことが求められます。

現在、静岡県のホームページでは、この問題についての詳しい説明が掲載されています。ぜひ、県民の皆様にもご覧頂き、より良い方向での事業推進となるようお力添えをお願い致します。



発達障がい等のある方でも 自動車免許取得が 可能な社会へ!!

みんなが
住みやすい社会を
目指します!!

「大人の発達障がい」への 注目の高まり

近年、これまでは子どもの問題だと思われがちだった発達障がい。実は大人の問題でもあり、職場や家庭で起きるトラブルの原因の一つとして「大人の発達障がい」に注目が集まってきています。発達障がい者は、見た目では判断が難しいため、周囲が発達障がいの特性を理解していないと、「やる気がない」「こんな簡単なこともできない」と誤解されがちです。それゆえに、本人の能力があるにもかかわらず引きこもり状態等へと繋がっている可能性もあるとすれば、それは大きな社会的な損失と言えます。

制度の谷間に置かれて いる発達障がい者

例えば、自動車運転免許取得シーンを想像してみてください。せっかく教習所に通っていても、怒られてばかりで途中でやめてしまう方も少なからずいらっしゃるそうです。国内においては、身体障がい者に対するサポートや運転支援策は進んでいます。こうした発達障がい者への配慮はほとんどなされておらず、いわゆる制度の谷間に置かれていて、実情なのです。



全国における先進地 「鹿沼自動車教習所」

こうした状況を受け、栃木県に所在する鹿沼自動車教習所では、平成23年から発達障がい者への教習を宇都宮大学との共同研究事業として開始。翌年には、一般社団法人全日本指定自動車教習所協会連合会もこの取り組みに参画し、専門のコーディネーターを配置したり、教習時に同乗してフォローしたりと様々な実験的取り組みを3年間行われました。その結果、この発達障がい者向けの教習プログラムは「つばきプラン」と名付けられ、全国から発達障がいの教習生が集まり、今日までに免許取得者は210名にも上っているとのこと。

「つばきプラン」の効果

卒業生や保護者からは、「行動範囲が増えた」「就職に有利になる」「自分に自信がついた」などの声が寄せられていて、この取り組みが社会へのつながりや就労支援の一助になっていることは明らかで、静岡県としても大いに参考にする価値があります。

本県でも 積極的な取り組みを

9月定例会の一般質問でこの課題

を投げかけたところ、厚労省地域生活支援事業にあたる「障がいのある方への運転免許取得支援」を実施している県内市町は15市町(全35市町の内)しかなく、そのほとんどが身体障害者手帳所有者のみを対象としていることが分かりました。対象の拡大をすることは可能で(鹿沼市では上限18万円を助成している)、まずは県から各市町に積極的な制度導入を促すことから始めることになりました。同時に、関係機関との意見を聴取しながら、発達障がいのある方への免許取得を支援していくとの答弁も引き出すことができました。



SDGs (持続可能な開発目標)

障害者差別解消法でうたわれている合理的配慮があらゆる場面で浸透し、誰一人取り残さないというSDGsの理念を一つひとつ実現できるように、今後も支援の後押しをまいります。



ここでは、紙面だけでは伝えきれない県政の出来事や山崎しんのすけが見聞してきたことを分かりやすく動画でカジュアルにレポートします。名付けて「カジポリ(カジュアルポリティクス)動画」。ぜひ、気軽に政治の世界を視聴してみてください!

しんのすけ “カジポリ動画”放映中!!

篠原地区の野球場構想って、どうなったの??



半世紀以上、放置されてきた遠州灘海浜公園篠原地区ですが、平成28年にスポーツと防災をテーマとする基本構想が策定されました。そのメインコンテンツが野球場です。しかし、基本計画に進む段階において浜松市議会と県議会での合意が得られず、時間をかけて調査等をする事になりました...

気になる最新の
状況は、コチラから確認!



eスポーツの未来には、何がある??



eスポーツという言葉が広がりを見せ始めている今日、私も日本eスポーツ連合(JeSU)の静岡県支部の役員を務めながら普及活動をしています。まだまだ正しい理解がされておらず、将来展望が見えていない状況にあります。でも、eスポーツを活用すれば、こんな面白い世の中になっていくはず...

気になる今後の
展開は、コチラから確認!



Pick Up インターンで政治を 体感してみませんか?

大学生の時に、議員インターンシップを経験したことが、私の政治を志した原点でした。百聞は一見に如かず。百見は一試に如かず。一緒に政治の現場で活動してみませんか?新しい発見が、きっとあなたを待っています。議員インターンに興味のある方、そうした経験をお子さんに積ませてみたい方、まずはご一報をお寄せください!

山崎しんのすけ事務所

〒430-0852 浜松市中区領家1-11-21
TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
<http://www.shin-sk.net/>



山崎しんのすけ

検索

▲オフィシャルサイトはこちら

SNSでも最新情報を公開中!! ぜひフォローをお願いします!!



facebook



twitter



instagram

山崎真之輔 プロフィール

- 38歳三児の父親
- 浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- 元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- 浜松市議会議員(2期6年間) ■静岡県議会議員(3期目)
- 所属党派:ふじのくに県民クラブ
- 所属委員会:産業委員会 副委員長
子ども健全育成推進特別委員会
- 役職:静岡県eスポーツ連合 専務理事
浜松市立東部中学校同窓会 会長
公益社団法人浜松青年会議所 常任理事
浜松市空手道連盟 顧問
- 趣味/スポーツ全般、日本舞踊(花柳流)
読書、カラオケ、ボードゲーム
eスポーツ

